

モンタナ

INNOVATIVE BY
NATURE

FDI業界の最新情報 クラウド・コンピューティング

モンタナ州の豊富な天然資源はエネルギー・コストが低く、消費するエネルギーの多くは再生可能エネルギーで賄われています。さらに夜になると自然に冷え込む山間部の気候も加わり、SaaS、ストリーミングによるビッグデータ分析、サイバーセキュリティ等のビジネスモデルに必要な帯域幅、電力、人材を必要とするデータセンターや企業がモンタナ州を選ぶ理由がよくわかります。

ビッグ・スカイ・カントリーには、活気ある小都市があり、屋外設備も充実しているため、知識集約型の産業で働く人々が居住したが、離職率が低くなります。Submittable、ClassPass、Schedulicity、EventGroove等の企業は、この点を認識し採用しています。2012年、モンタナのスタートアップ企業であるRightNow Technologies社は15億ドルでOracle(オラクル)社に買収されました。現在もオラクル社は、モンタナ州ボーズマンで重要なビジネス展開をしています。

©2023 Montana World Trade Center • mwtc.org • info@mwtc.org



クラウド・コンピューティング

事例: ADMINISTRATE



「アメリカに行くとき、私たちは会社としての価値観に合致する場所を探したいと思っていました。オープンスペースや雄大な山、川、森へのアクセスは、毎日新鮮なひらめきを与えてくれますし、この独特な立地は、ビジネス関係を築く上での大きな資産となっています。私たちは会社として、そしてここで生活し働く家族として、モンタナを故郷と呼べることを誇りに思っています。」

-AdministrateCOO、Patrick Flanagan

2016年、Administrateは米国進出を決断しモンタナ州ボーズマンが理に合っている場所でした。クラウドコンピューティング業界のリーダーであるAdministrateはトレーニング業務を企業の基幹システムに直接接続するトレーニングソフトウェアの統合的な取り組みを提供しています。モンタナ州はAdministrateのようなクラウドコンピューティング企業にとって、社員が住みたいと思うような場所です。つまりモンタナ州はアウトドアや活気ある小都市の文化的アメニティだけではなくアウトドアにもすぐにアクセスできる場所です。このアクセス環境は、週4日勤務で持続可能な仕事を優先する文化的価値観と相性が抜群です。モンタナ州には、州民だけではなく、モンタナ州への移住を希望する他地域の人々も含め、ネットワーク作りの機会やスキルのある人材に恵まれている事も分かってきました。また山地時間帯に位置するため、モンタナの拠点から米国両海岸にサービスを提供する事ができます。

本国: イギリス
州内所在地: ボーズマン
2016年に拡大



モンタナについて、多くの人を知っていることを紹介します。

- 平均通勤時間が最も短い州トップ5
- 消費税がないため、アメリカで最も優れた事業税環境を実現している
- 小規模事業を開始するのに最適の州
- 高度な訓練を受けた忠実な労働力により、採用費用を低く抑えることができる
- 常に住みたい州の上位に選ばれている



特徴一覧

1位 アメリカに進出する外国企業のための戦略的な拠点づくり

600社以上

モンタナを本拠地とするハイテク企業

29億ドル

2021年州内ハイテク産業の収益

トップ10

2022年ソフトウェア・エンジニアが住みやすい州

60以上

州内空港から主要都市への直行便数

トップ10 再生可能エネルギーの州